

# さくらさくら

令和7年 12 月吉日発行

第 33 号

社会福祉法人桜友会

児童心理療育施設 桜学館

〒501-3932 岐阜県関市稲口 777 番地 1

Tel 0575-24-0050 Fax 0575-24-0051

## ごあいさつ



桜学館施設長 児玉 俊郎

なかなか秋を感じられない日々が続いております。そんな中、子どもたちは毎日サッカーと鬼ごっこに走り回っています。今年も、中学生男子が近くの大学の大学祭で模擬店を出店しました。10月の出店では250食を昼過ぎには完売し私が昼ご飯を目的に会場へ行くと「施設長さん。もう売り切れたよ」と子どもが声をかけました。気を遣ってくれ、かき集めた焼きそばを提供してくれました。11月の出店では300食完売を目標にスタートしました。私が大学祭に行くと焼きそばの店の前には長蛇の列です。私も並ぶのを躊躇し他の様子を見て回っているうちに300食完売の連絡が来て今回は食べられませんでした。

子どもたちの持っているエネルギーのすごさにいつも驚いています。このエネルギーの高さは、分級で行われた文化祭においても感じました。小学生のSDGsの発表や中学生のバンド演奏・太鼓演奏とどれも素晴らしい姿でした。会場に見えた保護者の皆様も子どもたちの姿を見て成長を感じておられました。また、教育関係者の方々も「こんな素晴らしい姿を見せていただいて感謝しかありません」と言っていました。

しかし、子どもたちは、日常生活の戻ると様々な課題を抱えて自分と向き合い続けています。職員も感情の起伏の大きい子どもたちに必死に向き合いながら自分と戦っています。

さて、桜学館は平成17年(2005年)に開所し、今年で20年が過ぎます。少子化で子どもたちの数は年々減少していく中で、生きにくさを感じている子どもたちの数は増加しているという現代社会で、児童心理療育施設としてどのような社会的役割を果たしていくのか職員と共に考え、新たな年に向けて挑戦しなければと考えております。施設最大の課題である人材確保は、私たち施設職員だけではどうにも解決できる課題ではありません。みなさまのお力を借りながら、子どもたちの笑顔と一緒に診ていきたいと思う仲間を増やしていきたいです。



## 笑顔が一番

### <これからの課題>

※子どもたちの笑顔を見るために、大人のネットワークづくり。(福祉と教育と医療)

※子どもたちに寄り添えるための力を職員とともに学び続けます。(アセスメント力)

※子どもたちに関わっていただける仲間を募集しております。(文化活動・学習支援など)

1.子ども一人ひとりにしっかりと向き合い、ひとりひとりの自己実現に向かって共に支援を行います。

2.子ども一人ひとりの成長・発達を願い、子ども一人ひとりに相応しい環境設定を行います。

3.子ども一人ひとりの命を大切に、子ども一人ひとりの家庭復帰を目指した地域支援を行います。

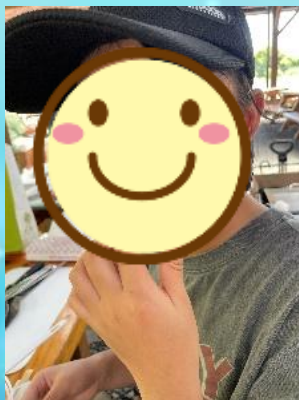
4.子ども一人ひとりの思いに耳を傾け、子ども一人ひとりを主体者として支援を行います。



## 風ユニット

今年の夏休みはプールに知多、サーカスに行ったり、中学生さん、小学生さんが夕食を振る舞ってくれたりと行事が盛りだくさんで楽しい思い出と経験がたくさんできました！！

冬休みにも素敵な思い出が作れるように、頑張っていきたいと思います！！また、後期も子どもたちが子どもらしく成長できるように、職員一同サポートしていきます。



## 星ユニット



夏休みも川に行ったり

浴衣を着て花火を見たり...

季節感あふれることをたくさんしました！

楽しい思い出をガソリンにして

大人も子どもも頑張ります！



## 光ユニット

今年度も、中部学院大学の学園祭に焼きそば出店をさせていただきました！大学生に混じって、中高生が奮闘しました。各務原キャンパスでは250食完売、関キャンパスでは300食を完売することができました。

お客さんに応援や励ましの言葉、「ありがとう」と声をかけてもらい、子ども達はとても嬉しそうに喜んでいました。とても貴重な機会をありがとうございました。

この経験をパワーにして、職員も子どもも頑張ります！！



## 空ユニット

少しずつ外出制限が解除されサッカーを見に行ったり、子どもたちの取り組みでのご褒美で岐阜城の城下町に行ったりと外出も増え、楽しく過ごしています。外だけでなく室内ではおやつ作りにゲーム会なども行い、内外ともに楽しめるよう工夫して生活しています。

もう今年が終わる雰囲気があり、年々早いなと感じていますが今年も最後まで元気に活動していきます！







## ハロウィンパーティー🎃

こんにちは。

虹ユニットでは、10月にハロウィンパーティーをしました！

職員や子どもたちが魔女やゾンビの仮装をして賑やかに♪

みなでお菓子のつかみ取りをしたり、写真を撮ったりして、年齢関係なくみんなで楽しめました！

日々の生活で頑張っている子どもたちが毎月の行事を通してリフレッシュすることができたらいいなと思っています。

少しずつ冬も近づいて寒くなってきましたね。

皆様も体調にお気をつけて、あたたかくお過ごしください。

## 大地ユニット

一時保護専用棟(大地ユニット)では、4月から稼働し始めて、一時保護児童、ショートステイ含めて25名の利用がありました。

多くの子が笑顔で、旅立ってくれたことを、とてもありがたいと感じています。 ユニット職員ほっこり



とある一時保護児童の置き土産



## レク委員

2025 年度も半分を切りました。前期は毎年恒例の夏イベ！！

今年は、各ユニットで準備した屋台で子どもたちが思い切り遊んで楽しい夏を過ごせました。ゲストには高校生マジシャンしょうまさんをお呼びし、子どもたちも息を忘れるくらい集中して見ていました！！楽しい夏になりました♪

後期はクリスマス会 🎄 子どもと大人が協力して会を作ります！！！！





# 桜学館分級のあゆみ

## 楽しんだ小中合同文化祭



令和7年10月29日(水)に、桜ヶ丘小中分級文化祭が開催されました。今年度のスローガンは『最後まで笑顔の文化祭』でした。文化祭へ対して「最後まで」には当日のみ頑張るのではなく、練習のときから頑張りたいという願いを込めて、実行委員会のメンバーで作りました。小中合同発表では、「大切なもの」の合唱を行いました。全員の歌声を合わせ、奏で日々の努力を形にして発表することができました。

### 小学生の部



小学生は、音楽(器楽合奏)や総合(SDGs)、体育(ダンス)で学習してきたことを発表しました。器楽の発表では、小学生全員でサバンナの壮大で美しい野生の大地をイメージした曲「アフリカンシンフォニー」に挑み、日頃の真剣な取り組みで身につけた表現力を発揮して演奏することが出来ました。総合の発表では、自分の目で絶滅危惧種となっている動物を東山動物園で見学した時に、学んだことを動物クイズや動物が絶滅しないために自分にできることは何かを考えて発表しました。相手が聞き取りやすいようにゆっくりはっきりと話すことを意識できました。体育の発表では「ジャンボリーミッキー」の曲に合わせ、踊ることを本気で楽しみ、動きを合わせることができました。



ダンスの様子

小中合同合唱では「大切なもの」を中学生と声を合わせ、詩の意味を考えながら、見に来てくれた方々に届けました。展示コーナーでは授業で取り組んできた図工作品や書写、国語の俳句や詩をお客さんに楽しんでいただきました。振り返りでは、一人一人が精一杯の力を発揮し、文化祭に臨んだことを確認しました。

### 中学生の部



中学生の発表では、ダンスとバンド演奏を行いました。

ダンスでは、振り付けや隊形移動について何度も話し合いを重ねて、仲間と意見を出しながら練習する姿がみられました。休み時間に繰り返し練習し、本番では見に来てくれた方々に一人一人がかっこいいダンスを一生懸命披露することができました。

バンドでは、初めてバンド演奏に挑戦する人が多い中、休み時間や放課後に練習を重ねてきました。練習では、パートで難しい箇所を何度も演奏したり、バンドの仲間と一緒に音を合わせたりすることで自信をもって本番に臨むことができました。文化祭当日は、会場全体に響きわたる素晴らしい演奏をすることができました。分級太鼓では、太鼓の経験のある生徒が初めての生徒に進んで教える姿がたくさんみられました。大太鼓や鐘の音に合わせて全員で心を1つに迫力ある演奏をすることができました。



分級太鼓の様子

小中合同合唱では、指揮者、伴奏者を中学生が担当しました。「がんばれ」という歌詞のところでは、見に来てくれた人に想いを届けたいと気持ちを込めて歌いました。本番を迎えるまでの準備を1人1人が責任持ち、全員で最後まで笑顔の文化祭を行うことができました。

中学校全体で文化祭の振り返りを行い、成果や課題を学校生活で生かしていくことを話し合いました。

### わおん大賞



発表している様子

わおん大賞の表彰式が行われました。今年度は、小学校のテーマは「将来のために今がんばっていること」中学校のテーマは「未来の自分に宛てた手紙」、というテーマで作文を書きました。受賞者は、文化祭に参加してくださった大勢の人に受賞した作文を聞いていただきました。

このわおん大賞は、分級で学ぶ子たちに「書く力」を身に付けてほしいという願いのもと始まり、今回で第13回を迎えました。自分の考えや気持ちをありのままに表現することは、なかなか難しいと思います。だからこそ、自分の考えや気持ちを「話して伝える」「文章で書いて伝える」活動を通して、自分の気持ちを表現する力を身に付けてほしいと願っています。





## 子ども家庭支援センター「とも」より



細かった羊たちに毛が増え、だんだん丸々としてきた姿に冬の訪れを感じます。みなさまいかがお過ごしでしょうか。

さて、ともでは地域の子どもや保護者の来所、家庭訪問等による子育てに関する支援を行っています。地域で生活する子どもや保護者の声を聞き、それぞれに合った支援ができるように心掛けています。そこで、新たに今年度から相談業務の一環として、訪問支援を始めました。関わりが必要な子どもを中心に、放課後小学生と宿題をしたり、学校が苦手な中学生と遊んだりしています。

お隣の里親支援センターともらすと協力しながら、より地域支援の質を高め、子どもや保護者の支えの1つになれるように努めます。今後ともよろしくお願いいたします。



## 寄付、ボランティアのお礼



ありがとう  
ございました

○大垣共立銀行様・・・プロ野球観戦チケット

○餃子の王将様・・・餃子弁当

○小酒井様・・・すいか・ねぎ・農業体験

○FC 岐阜様・・・サッカー観戦チケット

○クオンテックス様・・・玄米30kg

○Growup 楯様・三輪塗装様・アシストホールディング様・アルミック様・・・職業体験

○岩田電機様・・・図書カード

○亀山様・・・農業体験

他にもたくさんのご寄付を頂戴し、体験をさせていただきました。この場を借りてお礼申し上げます。



## 編集後記



つい先月頃まで、暑さ対策で冷房を使っていたかと思えば、急に寒くなり、各ユニットでは暖房を使い始めました。一体、秋はどこに行ったのでしょうか。ここ数年、毎年言っているような気がします。

季節の変わり目による寒暖差によって体調を崩しやすくなる頃かと思います。桜学館を支えてくださる皆様、くれぐれもご自愛ください。

その他の桜学館での日常をInstagramにて公開しております。毎月、各ユニットが持ち回りで投稿をしています。イベントだけではなく、日常の何気ないことも投稿しています。桜学館の新たな一面をみることになるかも！？ぜひ、ご覧になり、いいね👍・フォローしてください。また、採用・施設見学に関する情報も掲載しておりますので、桜学館に入職の関心をもっている方が近くにおられましたら、是非ご紹介いただけたらと思います。



@SAKURAGAKKAN\_0601

広報紙「さくらさくら」へのご意見、ご感想をお寄せください。

(E-Mail: [sakura@hohoemi.or.jp](mailto:sakura@hohoemi.or.jp)) 広報委員 川治・岡田